

AQUAPOLIS

No. 11
International
Conference of
Aquapolises
Publisher: Yasuhiro Kuroyama



世界 15ヶ国 41 都市の水都が集まり、
第 5 回国際水都会議が 2008 年 5 月 21 ~ 23 日に、
韓国釜山広域市において盛大に開催されました。

■第5回国際水都会議概要

第5回国際水都会議（以下、ICAP〔International Conference of Aquapolises〕という）が2008年5月21日から23日にかけて、釜山広域市のヌリマル APECハウス及びBEXCO（釜山展示コンベンションセンター）で開催されました。第5回ICAPでは、世界15ヶ国41都市の水都から市長や専門家などを釜山市に招いて、「持続可能な水都に向けて」をメインテーマとして、水と緑を活用したまちづくりのノウハウ等の情報交換を行い、21世紀の水都のあり方などを議論しました。



釜山広域市長による開会宣言

全体会議では、市長や知事の方々が「持続可能な水都に向けて」というテーマの下、水と緑に関する各都市の取り組みについて意見交換・討論し、その成果を「釜山宣言」として取りまとめました。専門家会議では、各セッションのサブテーマについて、各都市の取り組みを発表、情報交換を行いました。

■第5回ICAPテーマ

○ メインテーマ：

持続可能な水都に向けて

○ サブテーマ：

【水と緑を活用した都市開発】

【水上交通と都市開発】

【都心部の河川における自然にやさしい環境づくり】

【災害対策と水資源管理】



全体会議風景（ヌリマル APEC ハウス）

■主な会議プログラム

日時	プログラム	概要	会場
5月21日(水)	開会式	釜山広域市長（開催市）より開催宣言 大阪市長（理事都市）、釜山広域市議会議長の祝辞 韓国大学Euiso Choi教授による基調講演	ヌリマルAPECハウス
	全体会議	20都市・地域の市長等により、各都市の水・緑に関する取組み状況等について発表	
5月22日(木)	午前 専門会議	4つのテーマセッションに分かれ、各都市の専門家による取組み状況の発表及び意見交換	BEXCO (釜山展示 コンベンションセンター)
	午後 総括全体会議	全体会議、専門家会議の結果について、各座長より報告。 会議の結果を踏まえ、釜山宣言として採択	
	閉会式	釜山広域市長（開催市）より釜山宣言文の発表と閉会宣言	

(会議の概要)

5月21日(水)

全体会議

ハンブルク市（ドイツ）、上海市（中国）、ホーチミン市（ベトナム）、イリノイ州（アメリカ）など世界各国の20都市・地域の代表者から、各都市における水・緑に関する課題や様々な取組み状況について、基調発表が行われました。

5月22日(木)

専門家会議

セッション1：「水と緑を活用した都市開発」

ロサンゼルス市（アメリカ）、ウルサン市（韓国）、北九州市（日本）など9都市の専門家から、河川、湖、港湾など水と緑の活用を通じて、都市開発が進められてきたことを示す、数多くの事例が紹介されました。

セッション2：「水上交通と都市開発」

ソウル市（韓国）、高雄市（台湾）など5都市の専門家による発表がなされ、内陸水運と河川の浚渫及び水辺環境の改善が、生活の質を高め、都市競争力を強化するのに寄与するといった点を確認しました。

セッション3：「都心部の河川における自然にやさしい環境づくり」

上海市（中国）、済州特別自治道（韓国）など7都市の専門家から、工場廃水のリサイクル、合流式下水道の改善、河川流域の湿地帯の保全と復旧など、都市における河川周辺の生態系に配慮した整備等についての様々な事例が紹介されました。

セッション4：「災害対策と水資源管理」

サンベルナルディーノ市（アメリカ）、ベオグラード市（セルビア）、福岡市（日本）など8都市の専門家から、流域全体で取り組む総合的な治水対策や、リサイクル社会に向けた下水道技術等の紹介が行われ、また水資源管理の面では、ダム・海水淡水化施設等の水源開発や節水対策・森林再生等の発表や意見交換がありました。



専門家会議風景（BEXCO）

総括全体会議

全体会議、専門家会議の結果について、各座長から報告が行われました。その後、世界各国の水都が、この会議で提示された意見や情報を共有し、環境にやさしい都市づくりに向けて協調した取り組みを行うことを目的として、次のような内容の釜山宣言文を採択しました。

(釜山宣言文の概要)

広範なテーマに関する真剣な議論を通じて、参加都市は以下の点を確認しました。

- ① 水・緑の環境保全、温室効果ガスの排出削減などの課題への対処、技術及び政策的ノウハウの共有のために、共に取り組みます。
- ② 水都における市民の健全な生活を確保するため、環境にやさしい水辺空間を創造、活用していきます。
- ③ 水都の密接な協力を確実にするため、参加都市は国際的な会議に積極的に参加し、協力します。



総括全体会議風景 (BEXCO)



釜山宣言文の発表

■第5回 I C A P 参加都市 世界15カ国、41都市及び地域が参加しました。

市長、州知事等参加都市・地域

	国	都市及び地域名
1	韓国	釜山広域市
2	//	慶尚南道
3	//	慶尚南道 固城郡
4	//	蔚山広域市
5	コンゴ	北キブ州
6	//	南キブ州
7	//	ウビラ市
8	タンザニア	カゲラ州
9	//	ムソマ市
10	//	ムワンザ州
11	トルコ	ゴルバジ市
12	UAE	ドバイ市
13	日本	北九州市
14	//	新潟市
15	//	下関市
16	//	大阪市

専門家等参加都市・地域

	国	都市及び地域名
1	オーストリア	ウィーン市
2	中国	北京市
3	//	桂林市
4	//	上海市
5	//	遵義市
6	ドイツ	ハンブルク市
7	インド	グジュラート州
8	ロシア	サンクトペテルブルク市
9	セルビア	ベオグラード市
10	トルコ	イスタンブール市
11	アメリカ	ロサンゼルス市
12	//	サンベルナルディーノ市
13	日本	福岡県
14	//	長崎県
15	//	佐賀県
16	//	東京都
17	//	山口県

副市長、州副知事等参加都市・地域

	国	都市及び地域名
1	韓国	済州特別自治道
2	//	ソウル特別市
3	中国	広州市
4	//	蓮雲港市
5	台湾	高雄市
6	アメリカ	イリノイ州
7	ベトナム	ホーチミン市
8	日本	福岡市

■ 水都大阪2009の開催について



現在大阪では、世界にも稀な都心部を囲む川を「水の回廊」と位置づけ、船着場の整備や水辺周辺のライトアップなど、川や水辺のにぎわいを取り戻そうとするさまざまなプロジェクトが進行しています。そんな水の都・大阪の復興を広く伝えるためにシンボルイベントとして開催されるのが「水都大阪2009」です。

水都大阪2009 開催概要

[テーマ] 川と生きる都市・大阪

[キーワード] 連携・継承・継続

[基本コンセプト] ○水都大阪の魅力を創出し、世界に発信
○市民が主役となる、元気で美しい大阪づくり
○開催効果が継続し、都市資産や仕組みが集積されていくまちづくり

[開催日程] 2009年8月22日(土)～10月12日(月・祝) [52日間]



World



Japan



Kansai



水の回廊エリア



中之島公園・八軒家浜エリア

[展開方針] [アート]

- 市民と交流・協働するアートでまちづくりを促進
- 美しい都市空間の実現を促進
- 創造的人材の育成と集積を促進

[市民参加]

- 街の主役・担い手である「市民」が積極的に参加することにより、次代の社会をつくる“エンジン”となることを推進
- 都市の利用者である市民の視点からの参加を誘発
- 市民活動の量と質の向上を促進

[将来への継承] 「大阪」＝「水都」という街のブランドイメージの確立と発信

- 魅力的な景観・文化を創出
- 主体的にまちづくりに関わる人材の育成と集積
- アーティストと市民、地域コミュニティ等の多種多様な交流ネットワークの創出
- 新たな水辺活用による賑わい空間の形成
- まちづくりに関わる様々なモデル・仕組みを創出

水都大阪2009のHP：<http://www.suito-osaka2009.jp/>

■事務局からのお知らせ

・第5回 I C A P が盛大に開催されたことを受けて、会議の概要、プログラム、参加都市等の内容を各都市のみなさまへお知らせするために、アクアポリスNo.11を発行することとなりました。今後とも I C A P へのご協力をよろしくお願いいたします。なお、発行が大変遅くなりましたことを心よりお詫言申し上げます。

I C A P 事務局長：大阪市建設局河川担当部長 黒山 泰弘

・事務局への連絡先

ICAP大阪事務局への連絡先

住所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-16 WTCビル12階 大阪市建設局下水道河川部河川担当
TEL：06-6615-6838 FAX：06-6615-6583 E-mail：la0028@city.osaka.lg.jp

AQUAPOLIS